

2016年4月18日

一般社団法人日本ヒーブ協議会の代表理事に第一生命経済研究所職員が就任

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)のシンクタンク、株式会社第一生命経済研究所(社長:矢島 良司)の主席研究員 宮木由貴子が、一般社団法人日本ヒーブ協議会の代表理事に就任しました。

日本ヒーブ協議会は、企業の消費者関連部門などに働く女性で構成され、生活者と企業のパイプ役としてより良い仕事をするため、その能力向上を目的に1978年に設立された団体です。

当社は、多くの女性が活躍する日本ヒーブ協議会の活動を賛助会員として支援しています。

当社は1902年の創立以来、経営理念に「お客さま第一主義」を掲げ、お客さまのことを何よりも大切にして事業を営んでいます。

日々、お客さまとのあらゆる接点でいただく「お客さまの声」を経営に反映させるとともに、消費者の視点でご意見をいただく「消費者モニター制度」の運営や、各地域の消費生活センターへの定例訪問を通じた生命保険に対する消費者・相談員からのご意見等の収集活動など、消費者の視点を取り入れる取組みを積極的に行っています。

また、日本ヒーブ協議会・公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)(注)などへの積極的な参画等により、消費者・生活者の視点を活かして業務を遂行する職員の育成に努めています。

さらに、当社はダイバーシティ&インクルージョンの実現に向けた取組みを積極的に推進しており、その成果として、2015年に内閣府男女共同参画局による「2015年度 女性が輝く先進企業表彰 内閣府特命担当大臣賞」受賞、厚生労働大臣の改正次世代育成支援対策推進法に基づく特例認定(通称:プラチナくるみん認定)制度において「プラチナくるみん認定」取得、2016年にNPO法人J-Win主催の「2016 J-Winダイバーシティ・アワード」において「企業賞 アドバンス部門 大賞」を受賞しました。

これらの当社の取組みが、当社グループ職員の日本ヒーブ協議会代表理事選任につながりました。

当社は引き続き、創立以来受け継いできた「お客さま第一主義」をさらに追求し、今後もお客さまから最も支持される会社を目指してまいります。

(注)公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)とは、企業や事業者団体の消費者関連部門に所属し、日々消費者の声に接している責任者・担当者が業種を超えて集う組織で、消費者の声を企業内に伝え、企業への消費者からの信頼の構築を図ることを主たる目的とし、1980年に設立された団体。

一般社団法人 日本ヒーブ協議会 (<http://www.heib.gr.jp/>)

日本ヒーブ協議会は、企業の消費者関連部門・企業の消費者関連部門に働く女性が、生活者と企業のパイプ役としてよりよい仕事をするため、1978年より活動している団体です。現在、食品・化学・電機・流通・金融・マスコミなど、企業の消費者対応・消費者教育・広報・商品開発・営業・品質管理・CSR部門など多様な業務に携わる女性が集い、異業種交流の特徴を活かしながら、情報や意見の交換を行っています。2016年4月1日現在、正会員企業66社(会員82名)、個人会員8名、賛助会員企業23社(賛助会員25名)が月例研究会や分科会を通じて、企業と生活者の信頼ある関係に向けて活動しており、消費者関係行政機関とも連携しています。